


# リユースびんの普及促進について① 資料 9-1

 マークが目印



- Rびんは、平成16年に九州の900mlボトル(五合びん)から取組が始まった。
- その後、清酒や生協のびん等として利用が拡大している。
- しかし、九州における900mlのRびんシェアは3%未満という状況。

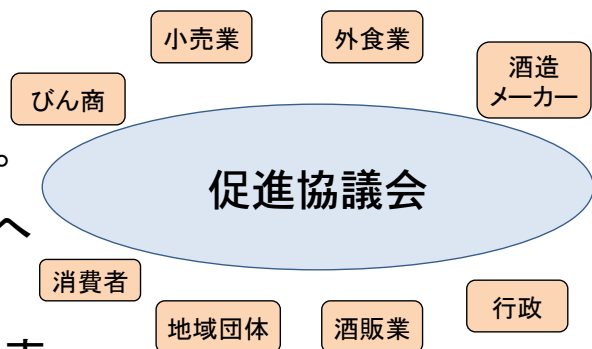
	出荷本数
900mlびん	7,351 万本
うち、Rびん	197 万本

平成20年度 九州経済産業局調査より

# リユースびんの普及促進について②

九州ならではの焼酎5合びんを中心にRびんの普及拡大について取り組む。

- 関係者による促進協議会を設置。
- 10～11月にシンポジウムを開催。
- モデル的事業の実施など、Rびんへの切り替えを進める。
- ①宅配型、②居酒屋型、③一般小売型について調査。
- ②の居酒屋型について重点的に議論。
- 市町村の集団回収での助成状況等についても調査。



	宅配型	居酒屋型	一般小売型
回収の難易	容易	容易	難
リユースの手間	中	小	大
導入量	小	大	大

我が輩はR<sup>ビール</sup>びんとあそぶ。

リサイクルより、さらに一步進んだリユースへ。それがRびんです！  
Rびんだと、なにが違うの？  
それがRびんです！

これまで私たちが使っていた使い捨ての容器  
(ワンウェイ)と違い、Rびんは洗えば何度でも使える  
ため、環境負荷がとて少ないのです。しかも、空きびん  
をお店に持っていけば、1本5円で引き取ってもらえます。この  
システム、何かと似ていませんか？そうです、一升瓶やビール  
瓶と同じなんです。近こ  
トボトルに取って代わら  
日本に根付いた伝統的な  
んな日本の良き伝統を、  
マッチする五合瓶(900ml)  
らせたのが、このRびんな

ろは缶や紙パック、ペッ  
れてしまいつつありますが、  
リユースシステムです。そ  
現代のライフスタイルにも  
というお手ごろサイズで蘇  
んです。



私たちに、  
まずできること。  
Rびんを  
選びましょう！

何度もリユースされるのでR<sup>ビール</sup>！



Rびんの仲間たち

■Rびんを広めよう会(エコポ水俣内)  
TEL.0966-69-2711 FAX.0966-69-2712 URL <http://www.r-bin.net>

■Rびんで飲もう会

R100 古紙配合率100% 白色度68%

PRINTED WITH SOYINK 大豆インク使用



# 《なぜ、<sup>アール</sup>Rびんでしょう》

## Rびんって、なに？

RびんのRとは、環境問題を考える上で欠かせない3つのR(リデュース、リユース、リサイクル)のうちの“リユース(使えるものを、繰り返して使う)”のことです。リサイクルはごみを資源として再活用すること、リユースは使えるものは何度でも使うこと、そしてリデュースはそもそもごみを出さないこと。

この3つのR、実は国(環境省)もすでに取り組んでいます(『3R推進キャンペーン』のサイト <http://www.env.go.jp/earth/3r/campaign/campaign.html>)。

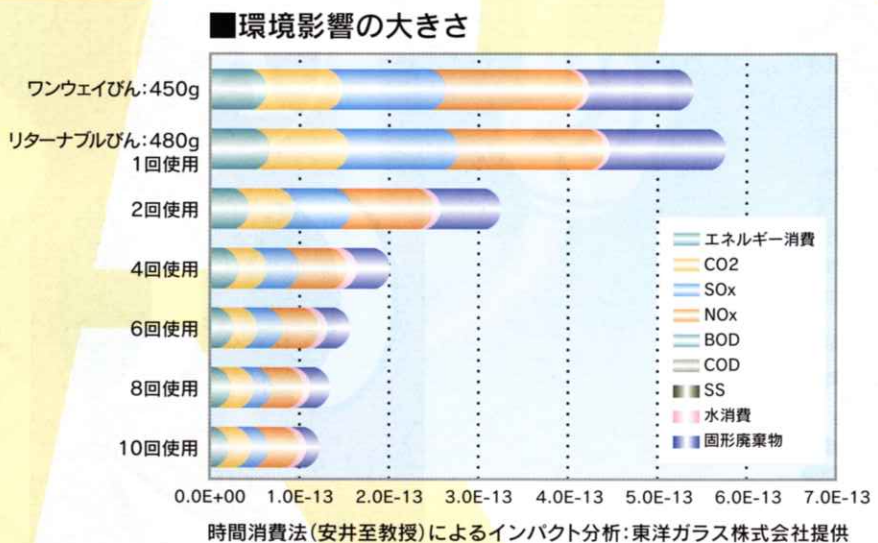
リサイクルも大事ですが、リサイクルには膨大な資源(石油、電力)が必要です。それに対してリユースは、環境への負担も少ない一歩進んだ考え方です。

リサイクルより、さらに一歩進んだリユースへ。それが**Rびん**です!

## 使えば、使うほど、Rびん!

Rびんは、回収して洗浄すれば何度も使えます。右のグラフをご覧ください。Rびんを使い捨てのワンウェイびんの環境に与える大きさを比較して見ると、1回だけ使用するならワンウェイびんのほうがわずかに環境負荷が小さいことが分かります。しかし、繰り返して使用するうちに、Rびんの環境負荷はどんどん小さくなるのが分かります。

Rびんは、地球に優しい容器なんです。



私たちに、まずできること。**Rびん**を選びましょう!

## Rびんのメリットって？

1. 行政/容器包装リサイクル法(容リ法)に基づくごみの収集・選別・保管をメーカーに代わって行う必要がなくなるので、むだな税金を使わなくて済みます。
2. 市民(私たち)/税金を納めている私たちにとっても、ごみの減量は深刻な問題です。酒屋さんに行ったら、「Rびんはありますか?」そのひと言が、明日の環境をつくれます。
3. メーカー/すでに国も3Rに取り組んでいます。今後は、メーカーも自社製品から出るごみについて、いままで以上に厳しく社会責任が問われることになるでしょう。Rびんを導入することによって、社会責任を大きく果たすことにつながると考えられます。



# だから、Rびん!

■Rびんを広めよう会(エコボ水俣内)  
TEL.0966-69-2711 FAX.0966-69-2712  
URL <http://www.r-bin.net>

■Rびんで飲もう会

## 焼酎びん（中型びん）におけるRびんの利用促進に向けて

～平成20年度「九州地域からのRびんリユースシステムの構築・普及に関する調査」から～

平成21年8月5日  
九州経済産業局

○焼酎900mlびん、720mlびんの出荷状況（推計値）

900mlびん焼酎

		出荷先(単位:万本)			
		関東	九州	その他	計
製造	全国	1,892	2,419	3,455	7,766
	うち九州	1,891	<b>2,419</b>	3,041	<b>7,351</b>

720mlびん焼酎

		出荷先(単位:万本)			
		関東	九州	その他	計
製造	全国	9,586	1,039	9,101	19,726
	うち九州	1,700	1,037	1,953	4,690

○酒造メーカーのRびん利用に関する意向（900mlRびん）

	全国(n226)	九州(n110)	九州出荷数(万本)
積極的に利用したい	6.2%	9.1%	183
利用したい	9.3%	17.3%	114
条件次第で利用したい	24.8%	36.4%	1,456
<b>計</b>	<b>40.3%</b>	<b>62.8%</b>	<b>1,753</b>
(参考) 利用したくない	23.5%	10.0%	3,176

\* Rびん利用の条件：従来設備で利用可能、出荷コストが現状並み、きず・欠けなし、消費者の認知 等

○ヒアリングで聞かれた声（例示）

- ・ Rびん利用により、コスト削減（びん調達、段ボール調達・廃棄）、環境負荷削減につながる。びんの統一は充填ラインの調整不要。CSRの観点からも歓迎との声がある一方、ユーザーニーズに合わせたびんの選択が出来ない、びんの出荷が減少、欠け・きず・マジック跡の処理、トータルでのコスト増の可能性等の意見。その上で、進める場合は業界全体での取組が重要との声も。【メーカー】
- ・ メーカーが危惧するほど形状に拘りなし。採用されれば無理なく受け入れられる。【居酒屋チェーン】
- ・ 一升びん、ビールびんでリユースできているので720ml、900mlでも可能。スーパー、コンビニは回収においても拠点。「出来るところ・すべきところから」が現実的。まずは、既存ルート（販売店経由）のRびん化が現実的。【業界団体】

○Rびんの利用促進のための方向性

- ・ 900mlびんは、生産の大半が九州に集中しており、地域内での循環を増やす。
- ・ カレット化されているリサイクルの流れを、リユースに変える。つまり、酒販店や市町村に回収されたびんをリユースする流れを作ることが重要。

(参考)

調査は、900mlびんや720mlびんの中型びんにおいて、一部は回収システムが確立されているが、多くは雑びんとして処理され、資源循環が求められるなかりユースが進んでいない現状を踏まえ、焼酎中型びんの現状と問題点を整理をし、Rびん導入方策を検討したのも。

## 「九州地域レアメタルリサイクル連絡会」について

平成 21 年 7 月  
九州経済産業局  
九州地方環境事務所

### 1. 趣 旨

レアメタルリサイクルは、リサイクル法で対象とならない不燃ゴミとして埋立等の処分が行われている廃家電等に含まれる希少金属のリサイクルである。このリサイクルシステムの構築には、排出時点での分別回収、リサイクル原料に加工する中間処理及び希少金属を抽出する精錬等の新たな仕組みの構築、社会的技術的な諸課題の克服等が必要であることから、環境省、経済産業省では、平成 20 年度からモデル事業を全国 3 カ所で実施するなど、関連施策に取り組んでいる。

九州地域では、このモデル事業としての福岡県(大牟田市)、民間企業が推進する北九州市及び市の独自事業として実施する水俣市が先駆けて取り組んでいる。

こうした状況のもと、九州経済産業局と九州地方環境事務所は、先行する地域の取組が、将来的に九州域内に更に拡大することを目的に、関心をもつ自治体と情報共有・意見交換を行う場として、「九州地域レアメタルリサイクル連絡会」を開催する。

#### 【情報提供・意見交換項目】

- ・レアメタルリサイクルの現状と課題及び法規制
- ・先行する地域の取組状況
- ・九州域内の中間処理事業者及び九州に関係する精錬事業者の概要

#### 【調査検討課題】

- ・中間処理業者の実態把握
- ・関心を持つ自治体における事業シミュレーションとシステム提案

※情報提供・意見交換項目については、広域ブロック自立施策等推進調査費を活用。

### 2. 構 成

九州域内の関心を持つ自治体。任意参加とし、委嘱等の手続きは行わない。  
参加案内は、九州各県、北九州市、福岡市及び各県が推薦する市町村に行う。

### 3. 開催時期と内容

第 1 回 8 月 27 日 国のモデル事業及び JOGMEC の取組  
先行する地域の取組状況

#### 【シミュレーションを希望する自治体との打ち合わせ】

※ 10 ~ 11 月 必要に応じて打ち合わせを数回実施

第 2 回 1 月 (予定) 非鉄精錬事業者、中間処理業者の取組、調査中間報告  
第 3 回 3 月 (予定) 自治体等の取り組み結果と今後の対応、調査結果報告

## 広域リサイクルに関する調査について

九州地域におけるリサイクルの推進に向けて、九州広域でのリサイクルが効率的と考えられる品目に関する調査や、特徴的な技術を有するリサイクル施設の把握等を行う。

また、中期的に九州地域におけるリユース・リサイクル推進に向けた横断的な課題・施策について意見交換していく。

### (1) 個別リサイクル法等がない品目

個別リサイクル法がない品目で県域を越えた規模でのリサイクルの必要性が高いもの。

発生量、リサイクル施設、処理容量、前処理（中間処理）、コスト等について情報収集する。また、リサイクル推進に向けた課題についても把握する。

(例) 蛍光灯、焼却灰、熔融飛灰、自転車、消火器（広域認定制度）・・・

### (2) 特徴的な技術を有するリサイクル施設等の情報収集（広域処理に限定しない。）

特徴的な技術を有するリサイクル施設など、九州におけるリサイクル産業の振興に資するような施設について情報収集を行う。

### (3) リユース・リサイクルに関する品目横断的な課題・施策

九州におけるリユース・リサイクルの推進に当たって、品目横断的な課題や必要な施策について調査する。

#### (例)

- ・ 自区内処理の原則が障壁（？）
- ・ リユース・中古市場の活性化
- ・ アジアとの連携
- ・ エコタウンの活用、活性化
- ・ 関係者間のパートナーシップ強化  
（産官学連携、各県間の連携、他分野施策との連携など）

